



# 杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会  
2018年 6月 1日発行

**6月号** 向日市上植野町西小路3-4  
**No. 88** 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

## 「働き方改革」法案は、 「定額働かせ放題」法案だ！

**6月議会  
開会中**

(3面参照)



杉谷伸夫・63才  
向日市議会議員・無所属  
上植野町イトーピア在住

今国会で成立が狙われている「働き方改革」法案で、特に問題なのが「高度プロフェッショナル」制度です。一定収入以上の労働者には、労働時間規制を無くします。年間休日数などの条件以外は、労働時間の規制はほぼなくなります。「柔軟な働き方ができる」と宣伝しますが、ウソです。「働き方に裁量がある」ことは適用条件になっていません。極めて長時間の労働（例えば1日24時間の連続労働）を命令しても違法になりません。残業という概念もなくなり、残業代もありません。「定額働かせ放題」法案と言われるゆえんです。

対象は「年収1075万円以上」の労働者と聞いて「自分は関係ない」と思ってませんか？しかし政府は「小さく産んで大きく育てる」考えで、財界は将来400万円程度にするよう求めています。私たち普通の労働者が対象になります。労働者派遣法も、制定当初は通訳など「一部専門職に限定」だったのが、その後大半の職種に拡大されました。平然とウソを重ねる政権が、問題だらけの法案をロクな説明もせず国会を通そうとしていることに、私たちは怒るべきです。(5月31日・杉谷伸夫)

### 首相官邸周辺で流行中！

#### 「謝ったら死ぬ病」

「自らの非を認めたら、その瞬間に死ぬかのように頑なに非を認めない」病気。首相官邸を発生源にスポーツ界にも広がっています。安倍首相、麻生財務相、日大アメフト監督…。絶対的な権力を持つ人たちの非常識が目にとります。

#### 「ご飯論法」

この人たちが、自らの非を認めないために使う不誠実な話法。「朝ご飯を食べたましか？」と聞かれても、「(パンは食べたが) ご飯は食べていない」と答える。食事をしたのか聞いているのに「米の飯」は食べていないとずらす答え方です。こんな話法が一般社会に広がる前に撲滅しないと！

### 6月の催し等のご案内

- 6月9日(土) 寺戸公民館  
「市民参加でまちをつくる会」  
議会、市政、まちの話題など意見交流
- 6月11日(月) 14:30~16:00頃(見込)  
向日市議会・杉谷議員の一般質問
- 6月17日(日) 15時~18時  
憲法カフェ：杉谷ひろば(西向日駅南歩5分)

### 向日市議会・定例会の主な日程

- 6/11, 12, 13 本会議・一般質問
- 15, 18, 20 厚生・建設・総務各常任委員会
- 6/22(月) 本会議(最終日・採決)

### 連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101  
メール [peace@fa2.so-net.ne.jp](mailto:peace@fa2.so-net.ne.jp) ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>

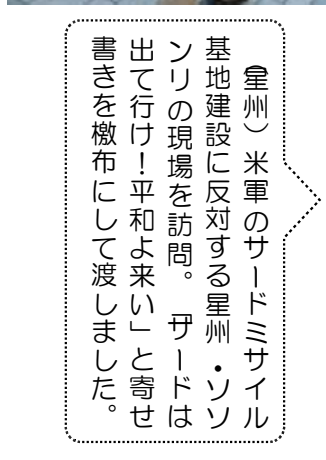


# 韓国・反基地反原発ツアーに参加 住民運動と交流してきました

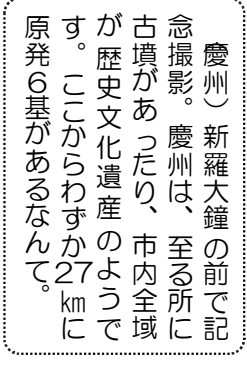
5月3日～6日、私が参加する市民団体による韓国の反基地・反原発住民運動との交流ツアーがに参加してきました。慶州・密陽の反原発運動の現場や、星州の米軍THAADミサイル基地反対運動の現場を訪問し交流しました。すぐお隣の韓国でも日本とまったく同じように、原発や米軍基地が住民の反対を押し切って建設されていますが、多くのことを今回の訪問で初めて知りました。日本と韓国の市民が原発と基地の問題をともに理解しあい、連帯していく一歩にしたいと思います。



（慶州）古都・慶州市内での毎週定例の反核デモに参加。駅前繁華街を和やかにデモ。市の中心部をラクシマを記憶しよう！のフラカードを手に歩きました。



（星州）米軍のサードミサイル基地建設に反対する星州・ソソンの現場を訪問。サードは出て行け！平和よ来い」と寄せ書きを襷布にして渡しました。



（慶州）新羅大鐘の前で記念撮影。慶州は、至る所に古墳があったり、市内全域が歴史文化遺産のようです。ここからわずか27kmに原発6基があるなんて。



（密陽）原発からソウルまで数百kmを送電する76万ボルトの世界最高圧送電塔。強力な電磁波の悪影響が。10年以上住民の反対運動が続いている。



昼食のピビンバ



（星州）ミサイル基地建設に抗議し、座り込む住民たち。韓国のためだけでなく米国の軍事戦略のため。サードと核兵器の無い韓半島をつくろう！



（星州）住民会館の横で毎週末に開かれるろうそく集会に参加。日本からの参加団を代表して、連帯のあいさつをする杉谷伸夫議員。



# 杉谷伸夫の

## 議 会 活 動

### 一般質問予定

#### 財務省の文書改ざん・廃棄

##### 向日市の公文書管理は大丈夫か？

行政が職務上作成・取得した文書は、国民みんなの財産であり、勝手に捨ててはいけません。ところが森友・加計学園問題を巡っては、重要な交渉記録などを捨てたり、後から出てきたり、改ざんされたり、国のずさんな公文書管理に国民はあきれ果てました。行政が公正に行われたかを検証するために公文書は重要です。向日市でも以前、前市長が重要な公文書を廃棄したことが大きな問題になりました。同様の問題が起きないように公文書の取り扱いについてチェックし、簡単に廃棄されず適切に管理・利用できるよう改善を求めます。また公文書が市民共有の財産であり、民主主義の基盤であることを明記した公文書管理条例の制定を求めます。

#### 介護保険サービス

##### 向日市の介護の質を守って！

介護保険制度を国は今、大きく変えようとしています。その方向は、要介護度の比較的軽い人を介護保険から外し、簡単な研修を受けた非専門職の人や、地域ボランティアなどに肩代わりしてもらい、国の財政負担を減らそうというものです。しかし、このことには介護に関わる当事者から異論や不安の声がでています。

向日市は国の政策誘導に安易にのらず、これまで積み重ねてきた介護サービスの質を守るよう求めます。



#### 杉谷伸夫議員・一般質問の予定

6月11日(月) 14:30~16:00頃(見込み)

向日市議会のホームページからインターネット中継・録画配信を見ることができます。

#### ごみの減量で

##### 市民会館建て替え費用を作ろう！

私たちが「要らない」と捨てたごみの収集・処理に、向日市は年間約10億円を使っています。新市庁舎+市民会館の市民会館部分の建設費見込みは32億円。ごみ処理費用を1割減らせば約30年で建設費が出てきます。そんな目標をもって、ごみ削減に取り組みたいものです。

この間向日市では私の指摘を受けて廃棄物減量等推進審議会が設置され、ごみ減量への議論が進められています。その検討状況を聞きます。

- ①古紙・雑紙の資源回収について
- ②ごみ袋の展開検査、中身の見えるごみ袋の指定等、資源ごみの分別促進の取組みについて
- ③家庭ごみだけでなく、事業系ごみの減量対策



#### コミュニティ・バス

##### 大きなピンチ、どう乗り越えるか？

コミュニティ・バスは、地元の路線バス事業者が運行を引き受けてくれると見込んでいたのですが、「引き受けない」意向が明らかになったため、方針の修正を余儀なくされています。理由は、①定時・安全運行に不安が残る、②バス運転手の確保が困難、③会社の事業方針、の3つとのこと。本市の課題に関わるのは、①「定時・安全運行に不安が残る」という問題です。狭い道路に違法駐車対策など、地域の協力が不可欠です。コミバス事業が直面する課題を、市民の皆さんと一緒に考え解決していくことで、「市民のコミバス」を走らせてゆきましょう。

# 世界最先端の 憲法に誇りをもって

安野 洋子

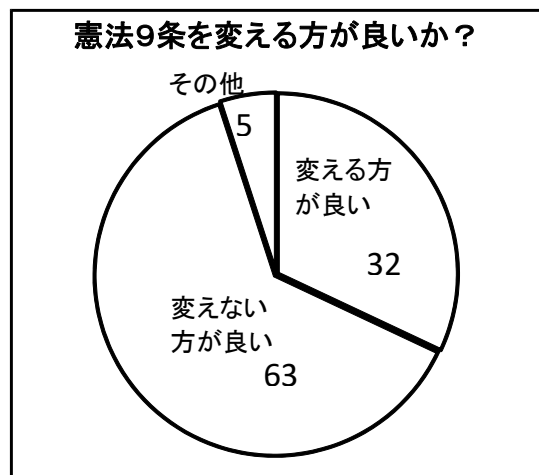
5月3日の憲法記念日が、今年が最後になってはと心配したものだった。昨年の憲法記念日に、安倍首相が「憲法9条に自衛隊を明記する」という案を出し、2018年に国会を通過させて、一気に国民投票にもっていこうと言い出していたからだ。衆参ともに改憲勢力が3分の2を維持していることで、強気に押し進めようとしていたのだ。

だが今年になって、「森友問題」の公文書が改ざんされていることが、朝日新聞のスクープで明らかになった。それから「加計問題」での柳瀬元首相秘書官の「首相案件」発言、防衛省のイラク派遣の日報隠し、財務省のセクハラ問題と、次々政権の問題が露呈して、改憲を進めることが難しくなってきた。国家権力を私物化し、政権直属の内閣府に権力を集中し、17の省の官僚を牛耳っていたのだ。

一方、「外交の安倍」と売り出し各国を訪問して回ったのに、今年に入ってから体たらくには言葉もない。2月の平昌オリンピック以後の韓国・北朝鮮・米国・中国の動きには、まったく「蚊帳の外」ではないか。日本は拉致問題という大き

な課題を抱えているのに、第二次安倍政権の5年間に一度も北朝鮮を訪問も直接対話もしていないのは、おかしいではないか。安倍首相の人気も下落しているのは当然の結果だが、改憲に関しては、安倍首相が自民党総裁三選をやめて退場するまでは安心できない。

戦前は軍部が内閣を牛耳り、「国会＝立法」「裁判所＝司法」を支配下に置いていた。新憲法制定当時の首相である幣原喜重郎は、戦争放棄、戦力不保持の9条が、夢の理想として批判されることを予想していたが、広島、長崎に原爆が投下されたことから、核時代の到来を予測し、核時代という新時代にむけた彼の究極の思想であったと言われている。戦争放棄の理想を自分のものにしたという幣原首相の思いには、いずれ日本に追随する国が現れるだろうという強い信念があったのである。幣原の理想を、現在の私達も大切に、改憲してはならないと強く思う。



2018年5月1日・朝日新聞報道

## 新庁舎と市民会館 どうなっているの？

### 皆さんの疑問にお答えします

**Q** 新しい市役所庁舎と市民会館はどこに建てるのですか？

**A** 現在の市役所本庁舎の敷地に、新庁舎と市民会館を合わせた複合施設を建設します。

2021年初め頃に完成の計画です。現市役所本館前の駐車場と、その西側の私有地（樹々が植わっている所）を購入して、その場所に建設し、その後現庁舎本館を解体します。

**Q** 新庁舎ができれば、先日東向日駅前オープンした市民課と福祉の窓口は、また新庁舎に移動するのですか？

**A** いいえ、東向日別館3、4階にオープンした市民課と福祉の窓口は、その後もそのままです。新庁舎ができれば、新庁舎でも東向日別館で行っている窓口手続きが出来るように検討を進めています。

**Q** 閉鎖されたままの市民会館はどうなるのですか？その跡に消防署を建て替えるという話を聞きましたが？

**A** 市民会館は、今年度中に解体する計画です。その跡地に向日消防署を建て替える案がありますが、まだ検討中で決まっていません。